

米国、イスラエルおよびロシアによる軍事行動の即時停止と

外交による平和解決を求める決議

大山崎町議会は、米国およびイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイランの報復攻撃に、深い憂慮を表明します。中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給や物価高騰などを通じて日本国民および本町町民の生活にも重大な影響を及ぼしています。

米国とイスラエルによるイランへの先制攻撃は、国連憲章や国際法を無視した暴挙にほかならず、強く抗議します。イラン政府による自国民への弾圧は国際人権法上許されないことは言うまでもありませんが、だからと言って、他国が軍事介入によって政治体制を変更しようとするのは、国家主権と内政不干渉の原則に反しており、決して認められることではありません。

また、ロシアによるウクライナ侵略は5年目に突入したが、いまだ終わりは見えません。国連によれば、ウクライナでの民間人の死者は、700人の子どもを含む15000人にもものぼっています。

今こそ求められるのは、軍事力ではなく対話と外交による平和的解決です。

大山崎町議会として、これ以上の犠牲を防ぐため、米国、イスラエル、ロシアおよびイランが、直ちに全ての軍事行動を停止して、国際法、国連憲章に基づき行動することを求めます。また、日本政府が、平和的外交解決にむけて積極的な役割を果たすことを求めます。

以上、決議する。

2026年3月24日

京都府乙訓郡大山崎町議会